

ひと粒から感じる、  
衝撃の幸せ。



埼玉県が生んだ  
プレミアムいちご

あまりん

PREMIUM STRAWBERRY  
AMARIN



「あまりん」の快進撃。

その原動力は『品種の力』と受け継がれた『技術力』。

遡ること昭和の時代一。かつて埼玉県は、いちごの栽培面積で全国一位を誇っていました。“いちごと言えば、埼玉”。しかし、時が経つにつれ、その輝かしいイメージは薄れていきます。

—もう一度、埼玉のいちごを盛り上げたい。県内いちご農家の想いを胸に、埼玉県の農業試験場が立ち上がります。活路を見出したのは、「美味しさの追求」。実に約10年の歳月をかけ、2つの品種を生み出します。そのひとつが、「あまりん」です。

「あまりん」は、一株から採れる実の数は多くありません。その分、一粒に甘みが凝縮し、濃厚な味わいに仕上がります。試験栽培に参加した、ある農家の言葉です。「いちご農家として様々な努力を尽くしてきたが、『品種の力』を思い知った。これは、とてつもない品種になる—」

「あまりん」の類いまれなる『品種の力』は、その力を最大限に引き出す生産者の『技術力』によって磨き上げられ、数々のコンテストで高く評価されています。

忘れられない『甘』の極みを、体験してください。



\*1 (一社)日本野菜ソムリエ協会主催 \*2 (株)ビビットガーデン主催  
\*3 各種コンテストの結果は、当該受賞者の出品物に対する評価であり、品種自体の評価ではありません。



AMARIN'S TASTE IMAGE

驚異的な甘さと、深みを与えるほのかな酸味。



埼玉県プレミアムいちご3品種 味わいチャート



「あまりん」「かおりん」の名付け親は、秩父市出身の落語家・林家たい平さん。「彩の国生まれのいちご姉妹」のイメージで、イラストも描いていただきました。

もっと埼玉いちごを知るには。「SAITAMAわっしょい!」詳しくはコチラから▶



埼玉県は、日本野菜ソムリエ協会から「プレミアムいちご県」に認定されています。